



# 議会だより

## 大生原小学校緑の少年団

### 大切な財源は

有効に使われたの? ..... 2

9月の議会で決まったこと ..... 4

### 市政を問う

12人が一般質問 ..... 6~18

自治功労者表彰 ..... 19

委員会って何だろう? ..... 20

10月臨時会で決まったこと ..... 22

表紙の説明は24ページにあります



全国緑の少年団活動発表大会で表彰!

# 大切な財源は有効に使われたの？

## 予算から決算、そして次の予算へ 議会が見つめる大切なサイクル。

9月定例会では、市長から提出された「27年度決算」議案を認定すべきかどうかを審査するため、所管の委員会にて決算審査が行われました。

「予算」を決めること、「決算」を認定することは、市議会の大事な仕事です。



市長（市の執行機関）



市議会

市の予算は使い終わったらゴールではありません。

予算が、「議会の議決や法令の規定に基づき適正に使われたのか？」「効率的に使われたのか？」を議会で審査し、その過程で浮かび上がった課題や改善点があれば、市が「次の予算計画に生かす」というように循環していくものです。

スタートは  
2年前に  
つくった  
予算書

H26.10月～  
H27.2月

新年度（27年度）の  
事業を計画し、  
予算案をつくります

H27.3月定例会

市議会に  
「27年度予算」議案を  
提出します

H27.4月～H28.3月  
(27年度中)

認定された  
予算に基づき  
事業を進めます

Check!

所管の委員会で予算案を  
審査した後、市議会で審  
議し、予算を認定します

市民の  
皆さんに  
代わって  
チェック  
します！

# 総務建設委員会・教育福祉経済委員会 決算審査

## 議案 認定第1号

平成27年度 潮来市歳入歳出決算認定について

## 議案 認定第2号

平成27年度 潮来市水道事業会計決算認定について

## 議案 認定第3号

平成27年度 潮来市工業用水道事業会計決算認定について

## 27年度決算を**認定**しました

市長から認定を求められた決算は、潮来市歳入歳出決算（一般会計・特別会計決算）と2つの企業会計決算の計3議案。所管の委員会では、議案の審査を行い、委員長が審査結果を本会議で報告しました。その後、本会議では採決が行われ、全員賛成によりすべての議案を認定しました。



予算を使った  
あとに  
決算を報告

※1 翌年度へ繰り越すべき財源は、一般会計6億5千929万円、下水道事業特別会計911万円です。歳入歳出差引額から、翌年度へ繰り越すべき財源を引いた実質収支額は、一般会計20億3千916万円ですが、この金額には、災害復旧・復興事業費の精算金10億円程度が含まれています。下水道会計の実質収支額は、1,222万円です。他会計に繰り越しはありません。

解説 ※1 翌年度へ繰り越す事業に充てるべき財源

### 一般会計

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
253億2,592万円	226億2,747万円	26億9,845万円

### 特別会計

国民健康保険特別会計	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
	47億350万円	46億951万円	9,399万円

介護保険特別会計	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
	20億3,097万円	19億3,105万円	9,992万円

下水道事業特別会計	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
	15億4,374万円	15億2,241万円	2,133万円

農業集落排水事業特別会計	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
	6,435万円	6,335万円	100万円

後期高齢者医療特別会計	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
	2億3,701万円	2億3,382万円	319万円

### 企業会計

※資本的収支の不足額は、消費税収支調整額及び損益勘定留保資金で補います。

水道事業会計	収益	収入	7億3,164万円	支出	6億5,582万円	差引額	7,582万円
	資本	収入	1,337万円	支出	1億9,317万円	差引額	▲1億7,980万円

### 工業用水道事業会計

収益	収入	1,632万円	支出	1,438万円	差引額	194万円
資本		—	支出	106万円	差引額	▲106万円

※収益…水道水給水に係るもの  
資本…水道施設に係るもの  
(表示はすべて1万円未満四捨五入)

H28.9月定例会

※監査委員の審査意見を付けて市議会に「27年度決算」議案を提出します  
※P5に掲載しています

Check!

「予算は適正に使われたか?」「期待した成果が出たか?」など  
所管の委員会で審査した後、市議会で審議します

所管の委員会で決算を審査  
総務建設委員会  
教育福祉経済委員会

市議会で決算を審議し認定するかを決めます

平成27年度は、東日本大震災からの復旧復興工事完了を目指し、優先的に事業が進められました。また、国が進める地方創生事業への取り組みが始まり、一般会計と特別会計を合わせた決算総額は309億円を越え、平成24年度に続いて過去2番目の決算額となりました。

限られた財源の効率的な配分と、適正な執行がなされるよう議会としても注視し、その成果を常に検証しながら市の更なる発展のために努めてまいります。

## 報告

**ピックアップ** 報告第9号・10号

### 財政指標 平成27年度 一般会計等健全化判断比率

平成19年に自治体の財政破たんを未然に防ぐことを目的に「自治体財政健全化法」が成立し、財政健全化を判断する4つの指標の公表が義務付けられました。各指標には、国の定める基準があり、基準値を超える団体は財政健全化計画などを作成し、その計画に沿った運営を行うこととなります。

市長より報告のあった平成27年度決算に基づく本市の健全化比率及び資金不足率は、すべて早期健全化基準を下回り、赤字は生じていません。

4つの指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	公営企業会計に係る資金不足比率
	普通会計の赤字を表す指標	すべての会計を合算した市全体の赤字の程度を表す指標	全会計の借入償還額が財政に及ぼす負担を表す指標	借入金残高や将来支払の可能性のある負担などを現時点で表す指標	(資金不足の額が事業規模に占める割合)
潮来市	0%	0%	5.4%	41.6%	0%
国 早期健全化基準(黄色信号)	13.92%	18.92%	25.0%	350.0%	20.00%
国 財政再生基準(赤信号)	20.0%	30.0%	35.0%	-	-

## 平成28年第3回定例会

◆会期 9月6日～9月23日

### 平成27年度決算

ほか、報告2件、補正予算6件、条例改正4件の議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。また、議会への請願1件を採択、人事案件1件に同意しました。

## 可決された主な補正予算・条例改正等

全員賛成で可決

**ピックアップ** 主な補正予算

**歳入** ふるさと応援基金積立金(ふるさと納税分) 15,960千円

**歳出** 東京オリンピックホストタウン業務委託 1,150千円

地産地消販売促進強化事業補助金 13,934千円

ホームページ更新業務委託 2,000千円

ふるさとづくり寄付金業務代行委託料 17,124千円

## 条例

### ▼潮来市公文書開示に関する条例の一部改正

公文書の開示請求権を市民及び利害関係者に限定せず、何人も可能とするもの。

### ▼潮来市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

個人番号の利用及び特定個人情報の提供を行う事務を追加するもの。

### ▼潮来市医療福祉費支給に関する条例の一部改正

茨城県小児・妊産婦医療福祉制度における所得制限緩和に伴い、関係法令が改正されたことによるもので、妊産婦と小児の医療費助成事業の所得制限額を変更するもの。

# 請 願

請 願 名	教育予算の拡充を求める請願
請願提出者	茨城県教職員組合 吉田 豊 署名 128名
紹介議員	大野 政則
所 管	教育福祉経済委員会
審査の結果	<b>採 択</b>
本 会 議	全員賛成で可決



請願の採択を受けて、国に対して意見書を提出

# 意見書

国に意見書を提出  
教育予算の拡充求める

## 意見書の提出先

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣  
文部科学大臣、内閣官房長官



## 意 見 書 (要旨)

日本は、OECD諸国に比べ、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている。

自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国段階での国庫負担に裏付けされた定数改善計画の策定が必要である。また、東日本大震災等の災害からの教育復興のためには、政府としての人的・物的な援助や財政的な支援が必要であり、継続的な予算措置をしていくべきである。

したがって、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させるため、次の事項を実現されるよう、強く要望する。

- 1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- 3 震災からの教育復興のための予算措置を継続して行うこと。

平成28年9月23日

茨城県潮来市議会

## 決算審査意見書 (要約)

監査委員 塚本 勝  
笠間 丈夫

一般会計及び特別会計を合わせた決算額は、歳入339億549万円、歳出309億8,761万円で、この内翌年度に繰り越すべき財源6億6,840万円を控除した実質収支額は22億4,948万円です。

歳入の中で市税は、31億2,001万円で前年度より2,846万円の減となりました。平成23年度に大きく税収が落ち込んで以来回復基調が続いていましたが、平成27年度は減収に転じました。更に、都市計画税の廃止により財政指標である「将来負担比率」が前年度8.8%から41.6%へと上昇しています。

財政の弾力性を判断する指標の経常収支比率は91.9%です。潮来市が毎年使えるお金（経常収入）に対し、人件費や建物の維持費など支出の決まっているお金（経常支出）が多くなるほど新規の事業展開ができなくなり、財政が硬直化することとなります。

健全な財政状況を築くには「入るを計りて出ざるを制す」ことだと言われます。今、地方自治体の財源不足は深刻です。工夫して自前の財源を創り出すなどして自力を付け、自立に向かうことが求められています。

住民の税金を預かっているという意識を忘れずに日々の業務にあたっていただくことをお願いします。

\*全文は潮来市ホームページ「市政」→「監査」→「監査の種類」より閲覧できます。

議員の質問や市の答えには、市政の課題がたくさん詰まっています。

どうぞご注目ください。

※7ページから18ページまで発言順に掲載

7P 田崎 清 議員

- 1 ごみ処理について
- 2 3市ゴミ処理施設、廃棄物処理の広域化について
- 3 第38回水郷潮来花火大会について
- 4 あやめまつりについて
- 5 土地（貸地、借地）の使用状況について

8P 飯島 康弘 議員

- 1 行政サービスの充実について
- 2 防災体制の強化について
- 3 人口減少問題について

9P 沼里真一郎 議員

- 1 復興工事の完成について。地下水位低下の現状と沈下補償
- 2 IT介護健診ネットワークの導入と、社協の周知と市補助を
- 3 職員公益内部通報による職員保護条例を
- 4 学校誘致と稲井川周辺企業誘致と辻側も
- 5 交換留学復活とA L T活用の市民への英語教育
- 6 市情報発信効果検証と市内生徒へタブレット配布を

10P 阿部 慶介 議員

- 1 潮来市洪水ハザードマップについて
- 2 潮来市子育て応援サイト・スマートフォン用アプリitacoco（いたここ）について

11P 兼平 好一 議員

- 1 あやめまつりについて
- 2 十番排水ポンプ場について
- 3 広域連携路線バスについて
- 4 農業政策について
- 5 市営住宅について
- 6 コンプライアンスについて

12P 飯田 幸弘 議員

- 1 第65回水郷潮来あやめまつりについて
- 2 いばらき教育プランについて
- 3 健康寿命の延伸について
- 4 がん予防について
- 5 基幹相談支援センターについて

13P 箕輪 昇 議員

- 1 国体について
- 2 市道整備について
- 3 雑草対策について
- 4 乳がん検診について

14P 小沼 英明 議員

- 1 入札について
- 2 前川の拡幅と橋の架け替えについて
- 3 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）について
- 4 潮来市ホームページの表紙上の動画について

15P 大野 政則 議員

- 1 前川沿岸の浸水防止対策について
- 2 真に開かれた行政運営と情報公開について
- 3 県道潮来・佐原線沿線における土地利用計画について
- 4 地域公共交通網の整備について
- 5 日の出地区における液状化対策等について

16P 小峰 進 議員

- 1 国民健康保険の取り組みについて
- 2 徳島園地の利活用について
- 3 災害時の一斉メールの導入について
- 4 旧神宮橋から鰐川沿いの一号堤の市道について
- 5 農業後継者づくりについて

17P 兼平 直紀 議員

- 1 防災拠点としての市役所庁舎について
- 2 市庁舎の改築と庁舎建設基金の今後の活用について
- 3 水郷旧家磯山邸について
- 4 今後のあやめまつり、水郷潮来あやめ公園について
- 5 潮来市移動発達相談について

18P 平田 健三 議員

- 1 無料学習教室の開設について
- 2 あやめまつりについて
- 3 市民サービスの拡充について
- 4 牛堀地区の活性化について

白抜きの数字は要約して掲載された質問ですが、それ以外は紙面の都合により掲載できませんでした。その内容については、議会ホームページの録画中継によってご覧いただけます。

潮来市議会

検索



Q1 ごみ処理について

各種ごみの排出量、処理費用の推移は、環境課長 次のとおりです。

年度	搬入量(t)	処理費用
23	10,566	5億7,100万円
24	10,097	5億8,700万円
25	9,888	6億9,600万円
26	9,651	6億3,700万円
27	9,829	5億7,100万円

施設の現状、維持管理費、故障による修繕費は、環境課長

供用開始から25年が経過し、老朽化も進んでいる。計画的な維持管理に努めていく。

ごみの分別や減量の取り組み状況は、環境課長

年度	維持管理費	施設にかかわる修繕費
23	4,030万円	9,500万円
24	1,940万円	1億3,300万円
25	2,610万円	2億3,100万円
26	3,900万円	1億4,900万円
27	4,490万円	8,100万円

分別の冊子とポスター

を作成し、21年度に配布。転入者にも、市民課窓口にて配布・周知している。

減量化は、リサイクルセンターで、再分別と異物等の除去を行うなどリサイクルを推進、紙類の分別回収等も行っている。



Q2 3市ごみ処理施設・廃棄物処理の広域化について

候補地(用地選定)の進捗状況は、環境課長

3市の各市長、部長からなる「ごみ処理施設建設用地選定委員会」を設置し、各市から選定された候補地の評価を点数化し、比較検討を進めている。

建設費・事業計画・施工計画は、環境課長

焼却施設の概算建設費は約60億円と推定され、ほかに、リサイクル推進施設、最終処分場の建設を予定している。各市負担割合は、現在協議中。

基本構想の中で、ごみ分別区分の統一が示されている。焼却施設の機種及び余熱利用については今後さらなる検討を行う予定。

着工予定日と使用開始予定日は、環境課長

基本構想の中では、造成工事を平成30年度・供用開始は33年度を予定しているが、今後協議により変更となる場合もある。

Q3 第38回水郷花火大会について

実行予算・寄付金額・有料観覧席・駐車場販売結果、収支結果は、産業観光課長

予算は、1千9万5733円。寄付金469万9477円(391件)、有料観覧席49万5000円(枚敷席として99こま販売)、駐車場使用料3万8000円(76台分)。一部未精算のものがあるが、概算で収入同等の支出金額になります。

花火の数量・日程の選定・今後の予定は、産業観光課長

今大会同様に、同時期で考えているが、今後、実行委員会等で協議、検討していきたい。

Q4 あやめまつりについて

良い点・問題点・改善点は、産業観光課長

開会時期の変更が、あやめの開花時期と合致したことと、人力車の和風モダンな風情により、嫁入り舟の魅力がさらに高まり、高い評価をいただいた一方で、広報周知が遅いという指摘がされており、今後、インターネットを活用した広報も充実させる予定。半年前から周知できるよう準備していく。

入場者数・アイモア屋上駐車数・大型バスの台数・来客数は、産業観光課長

入込数は78万人。屋上駐車数は2238台、バスは、424台(観光協会資料より)。来客数は、園内どこからでも入園できることもあり、推計には至りませんでした。

二本松寺あじさいの杜に市営循環バスを運行集客数・本数・経費は、産業観光課長

バスは1日6便、10日間60便運行し、乗客数は、222人。経費は1日1万7280円の契約額で、17万2800円です。



# 質問者 飯島 康弘 議員

## Q1 行政サービスの充実について

**質問** 市民の視点に立った行政サービスの充実を、今年4月より市役所内、組織改編を行ったが、その意図と効果はなされているか。

**答** 市長 ①復興から通常へのシフト。②子育て・結婚対策の強化。③情報を効果的に発信し、国際観光都市を目指す政策を推進。④効率的な事務執行。この4点を目的に組織改編を行ったが、まだ市民の方々の評価を得るには至っていない。来年度は横の連携のできる組織体制を考えていく。

**質問** 市役所を利用する方の不安解消、職員の業務の効率化を図り、所内を古くても明るい空間に。総合案内人配置、所内に音楽BGMをかけることを提案するがいかがか。

**答** 総務部長 公益の場合なので音楽をかけることにはいろいろな意見がある。職員が業務に集中するためにも慎重に考えたい。

総合案内については、市役所が狭いこともあり、市民課でまず話を伺って、各課に案内をするなどして対応しているのをご理解を賜りたい。高い位置にある看板は、早急に、見やすい

ところに配置します。



総合案内のある市民課



**質問** 市民の不満解消、働きやすい職場とするため、計画的なマニュアルづくり、任期付きの人事異動、人員配置の手法がこれからは必要であるがいかがか。

**答** 総務課長 職員の資格や免許、異動希望を考慮しながら、最少の職員で最大の効果を発揮できるように努めているところで、結果

## Q2 防災体制の強化について

として、市民サービスの向上に結びつくものと考えています。一般的には3年から5年での異動としているが、専門性が問われる部署もあり、組織全体として考えていきます。

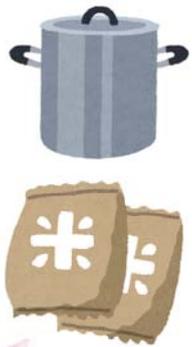
**質問** 台風災害に備え避難所を開設したが、状況、場所の選定理由を伺う。

**答** 総務課長 台風7号では避難所を開設していない。台風9号と10号ではかすみ保健福祉センターと潮来保健センターに避難所を開設したが、避難者はなかった。

場所の選定理由は、潮来と牛堀にそれぞれ施設があること、これまで避難所として使った実績、職員が常駐していることを考慮した。

**質問** 避難所に予め炊き出しセット等の配置案の進捗状況は。

**答** 総務課長 各施設への炊飯道具や炊き出しセットの備蓄については、引き続き研究している。



## Q3 人口減少問題について

**質問** 潮来市は何もしなければ2060年に1万3千人が減る統計が出ている。必ず起こる人口減少問題。市の認識を伺う。

**答** 秘書政策課長 人口の減少を前提とした行政サービスの持続性の確保に向け、広域連携、市民協働などが重要になると考えている。さらなる効率的な行政運営のため、公共施設の統廃合による歳出削減、行政改革の取り組みなども検討していく。

**質問** 人口減少を防ぐ政策ももちろん必要ですが、併せて必要なのが「人口は減る」という現実をしつかりと理解し、自分たちの問題であるということを市民に周知し、人口減少を前提とした行政運営が必要と考えるが、改めて伺う。

**答** 秘書政策課長 人口減少社会を迎え、3月に地方総合戦略を策定した。人口の今後の推計や市の取り組みを市民の皆様を知っていただくことは重要なこと。市の広報紙やホームページ等で状況を伝えていきたい。そして、理解をしていただいて、ともにまちづくりを携わっていただきたい。



# 質問者 沼里 真一郎 議員

**Q1** 復興工事の完成について・地下水位低下の現状と建物傾き沈下補償

**質問** 地下水位低下のウエルポイント追加工事は2割増し。低下スケジュール延長・方法変更後の今も水位低下が限定的、水位上昇している観測井戸もある。復興工事設計前の観測井戸数が足りない。未知の地下水や常陸利根川から流入は。ポンプを稼働し続けた場合の年維持費は。

**答** 復興工事推進事務所課長 未知の地下水流入は無いと考えている。維持費と電気代約1000万円の見込み。

**質問** 国へ市長要望に行ったのは1回のみ。市が約束した建物補償は。事後全戸調査を。少なくとも申請制周知を。

**答** 復興工事推進事務所課長 現在、家屋等に影響が生じないよう、慎重に地下水位を低下させているところ、ご理解をいただきたい。家屋事後調査は、国制定の「市街地液状化対策推進ガイドランス」の記載により、申し出のあった方を調査する。周知方法は、説明会の開催、広報紙、ホームページ等を検討している。

**質問** 避難誘導灯を2つに1つの点灯は。

**答** 総務課長

災害時に避難所へ誘導することを目的に、歩道側に向けて設置、間隔が短くなっている。1基ごとにメーターが設置されていないので、定額制の料金体系です。

**Q2** T介護健診ネットワークの導入と社協の周知と市補助を

**質問** 救急と福祉の向上へT介護健診ネットワークの導入と横の連携強化を。

**答** 笠間市の運用状況を見守り、判断していきたい。

**質問** 潮来市社会福祉協議会（市長が会長）正職員は3名のみ（鹿行各市10名以上）で人件費市補助率も低い。1年契約を更新する臨時職員の流出を防ぎ、潮来社協の赤字決算と財政調整基金枯渇・運転資金の支払準備基金枯渇へ体制強化すべき。民間ながら福祉を担う社協の赤字解消へ周知と人件費市補助を。

**答** 社会福祉課長 補助金や委託事業を通して人件費補助も行っているが、今後、社協自体が地域ニーズ等を踏まえた中で、さらなる機能強化に取り組んだ中で、人件費も含めた必要となる補助等の支援、効果的な役割周知方法等を社協と協議していきたい。

**Q3** 職員公益内部通報による職員保護条例を

**質問** コンプライアンス遵守と市の未来へ以前から提案している職員公益内部通報による職員保護条例を。

**答** 総務課長 「潮来市職員等公益通報に関する要綱」を制定することとし、精査を行っています。

**Q4** 交換留学復活とALT講師活用の市民への英語教育

**質問** 英語教育醸成・人材育成・観光外国人インバウンドへ生徒海外交換留学復活と鹿行DMO予算を活用してALT講師による夜や土日に市民へ英語教育を。

**答** 秘書政策課長 中学生海外派遣事業等の復活は、現在は考えていません。

**質問** 学校教育課長 ALTは学校教育に専念することが求められ、勤務時間の関係もあるので夜間や土日、祝日の勤務は難しいと考えます。国際交流関係の協力は、本人の意思・負担を考えた検討が必要です。

**Q5** 市情報発信の効果検証と市内生徒へタブレット配布を

**質問** ホームページ等の効果検証と生徒の学力向上へ、少しでもタブレット配布を。



**答** 秘書政策課長 毎月アクセス数の解析と効果検証を行っている。閲覧者の求める情報のさらなる充実を図りたい。

**質問** 学校教育課長 タブレット配布は、現段階では考えていない。学校教室のLANやセキュリティの整備も必要なので、国の動向や関係機関と調整を図り今後どのように進めていくか考えていきたい。

## 一般質問

## 市政を問う



# 質問者 阿部 慶介 議員

## Q1 潮来市洪水ハザードマップについて

**質問** 潮来市には洪水ハザードマップがあります。堤防が決壊したと想定した時の浸水想定区域を表した図です。自然災害は我々の想像を超えてくる。マップに記載されているような、浸水が起きた場合の避難マニュアルは？

**答** 総務課長

平成25年3月に発行した潮来市防災パンフレットの中で周知しています。現在、平成28年5月に設立した「霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」で、今後5年間の取り組みを決めたところであり、潮来市でも逃げ遅れゼロに向けた避難行動のための取り組みを進めていきます。

**質問** マニュアルの代わりにハザードマップで周知ということだが、市民の方にとってハザードマップでは分かりづらいのでは？

**答** 総務課長

「霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」で協議されている事項に、ハザードマップの周知という項目もある。この5年間の中で、国・県と連携しながら見直しを図って

いきます。

**質問** 今後5年で煮詰めていくという事だと思いが、潮来市は人口が減少していくが高齢者の方は増えていく。今までと同じようなマニュアルではなく、高齢者の方の立場に立ったマニュアルが必要では？

**答** 総務課長

高齢者や災害弱者に、早めの避難を促すなど、今回のご提案を加味しながら考えていきます。

**質問** 浸水が起きた場合、日などの地域で、被災者は何人くらいになるか？

**答** 総務課長

霞ヶ浦河川事務所の公表した想定最大被災人口は、1万4812人です。

**質問** 1万4812人とかかなりの人数になるが、堤防が決壊した時には一次避難所の集会所は浸水で使えない。その時に、その地域の人達がどこに逃げれば良いのか周知して頂く必要があると思うが？

**答** 原市長

ご指摘のとおり、雨による浸水の避難訓練、実際にどう逃げるかのルートも出来ていません。早急に検討して、住民の安全、命を守る行政の体制を

整えていきたいと考えています。

**質問** 水害は避難期間が長期化される事が予想される。仮設ハウスの設置、設置場所の候補地、空き家等の利用等は検討されているか？

**答** 総務課長

仮設住宅等については、現在は検討していません。

**質問** 検討していないということだが、浸水がなくなるとは困難。仮設ハウスの検討が必要では？

**答** 総務課長

潮来市地域防災計画で応急仮設住宅の建設計画を示しています。応急仮設住宅の建設は、茨城県が実施するものなので、関係機関と協議をしながら考えていきます。

## Q2 潮来市子育て応援サイト「itaCoCo」について

**質問** 6月に開設したスマートフォン用アプリ「いたここ」は大変便利でいつでも利用できる事ができる。今後登録者を増やす為の宣伝方法は検討しているか？

**答** 子育て支援課長

市の広報紙に掲載するとともに、民間のタウン紙、情報誌に掲載を依頼していただきます。また、市民課、保健センター、子育て支援課に来庁される方にも口頭でPR・周知していただきます。

**質問** 使い方の問い合わせはメールだけでなく、電話による問い合わせも可能か？

**答** 子育て支援課長

これまでもメールや電話による問い合わせがございました。今後も対応は可能です。

子育て支援サイト・スマホアプリ「itaCoCo」へアクセス!



潮来市が子育て家族に向けた「子育て支援オリジナルアプリ」をご提案！

子育て応援いたここ itaCoCo

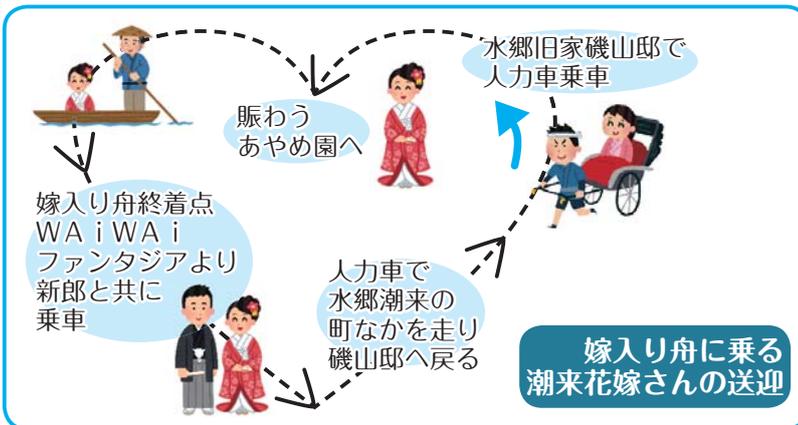
アプリのおすすめ機能

- 子育て支援等の情報が確認できます！
- 成長記録・予防接種の記録ができます！
- 市内のイベント情報が確認できます！
- お子様の成長にあわせた情報が届きます！

まずは！  
潮来市子育て支援サイト「いたここ」よりダウンロード無料へアクセスしてください。

App Store | Google Play

潮来市役所 子育て支援課



Q1 あやめまつりについて

期間中の客数と観光バ  
入台数は。

産業観光課長  
入込客数は78万人、バ

スは、424台。(観光協会資  
料より)

質問 旧家磯山邸と人力車の  
効果は。

産業観光課長

答 好評を博し、嫁入り舟  
への参加30組中、24組が人力車  
を希望する結果に。

Q2 十番排水ポンプ場は  
稼働状況と水位経過は  
ついて

産業観光課長

答 あやめまつり実行委員  
会で、広報周知が遅いことが指  
摘されており、半年前から周知  
できるよう準備したい。人力車  
も引き続き取り組む。市民が誇  
れる観光地づくりを目指し、地  
域産業の振興、発展に大きく貢  
献することを目的に実施したい。

質問 稼働状況と水位経過は  
ついて

産業観光課長

答 4月15日から稼働し、  
4ヶ月間で、稼働時間は、  
約3190時間、排水量約  
184万9500トン。(ポン  
プ4台合計)

質問 地下水位は、一部の管側溝を  
除き、8月でGLマイナス2m  
に達し、ステップ2に移行中。

産業観光課長

答 今後の予定は、  
復興工事推進事務所課長

GL2.3mまで下げ  
るため、目標値までの水位低下  
を確認後、ステップ3へ移行、  
12月中旬にかけGLマイナス  
2.6mまで低下させ、その後  
ステップ4へ、地下水位及び沈  
下計を観測しながら、来年2月  
中旬にかけて、最終目標値のG  
Lマイナス3mまで慎重に低下  
させていく予定。

Q3 広域連携路線バスに  
ついて

利用者の状況と動向は。

秘書政策課長

利用状況と動向は下表のとおりです

	運行開始～8月末 103日間	あやめまつり 開催中の 6月1ヶ月
利用者数	2,837人	1,067人
平均乗車人数 (1日当たり)	7.54人	35.57人
(1日1便当たり)	1.72人	2.22人

Q4 農業政策について

地域ブランド米「潮来  
あやめちゃん」一番星の  
産業観光課長

作付状況は次のとおり。

課題と今後は。  
課題は利用者の増加。  
利用者の声を踏まえ、対策とし  
て、回数券、1日フリーきつ  
ぷ、定期券の発行、夜便の導入  
等を実施する方向で調整が進め  
られています。

生産調整の目標達成率  
と市補助金の内容は。

地域ブランド米 「潮来あやめちゃん」	特別栽培米 「一番星」
25年 22ha 113t	-
26年 20ha 99t	8ha 39t
27年 11ha 49t	9ha 43t
28年 11ha(計画)	12ha(計画)

再質問 飼料用米の増加が見  
込まれるが見解は。

産業観光課長

答 湿田地帯で、有効な転  
作物物ができない場所であるの  
で、加工用米、飼料用米ともに  
有効な作物と据えている。他の  
作物の奨励金の状況、近隣の状  
況等も含め、再生協議会等で検  
討させていただきたい。

麦	1万5千円
新規需要米(飼料米)	5千円
野菜	2千円
青刈り稲	2千円
マコモタケ	1万円
花卉等	2千円
景観形成作物	1万5千円
加工用米(1袋当たり)	500円
	10a当たり

答 8月現在、目標面積  
642万2848㎡に対し、実  
施面積合計408万5318㎡  
で、達成率は63.6%。補助金  
の作物別内容と額は次のとおり。



# 質問者 飯田 幸弘 議員

## Q1 第65回水郷潮来あやめまつりについて

**質問** 磯山邸は今年度工事が終わり、4月には新しい名所として活用されるが、どのような機能・方針なのか、管理運営は、どこが行うのか伺う。

**答** 秘書政策課長

学びや交流・観光に寄与できる場所、移住体験の場、宿泊機能を備えた建物です。体験・学び・交流事業、花嫁に会える街をテーマにした関連事業、移住体験としての宿泊など対象者や利用幅を広げられる活用方針を定める予定。管理運営は、指定管理者制度の導入を検討している。

**再質問** 民間の視点での運営が良いと思う。指定管理者という手法もあると思うが、運営をどのように行っていくのか、改めて市長に見解を伺う。

**答** 市長

民間の企業、指定管理、NPOであれ、しっかりとした方々に管理していただきたい。

**質問**

今回のあやめまつりは、原市長になって初めて計画段階から期間・イベント内容・広報周知・開催期間変更・

人力車導入・あじさいの杜との連携、結果はどうであったか。原市長に政治的視点から総括として伺う。

**答** 市長

各種団体、市民の協力により成功できた。人力車という新たな事業、る舟遊覧はGWから開始された。秋にも週末での遊覧事業が用意され、観光通年化に向けて前進している。こういった努力もあり、外国人観光客も増えている。開催時期の変更は、アヤマ開花に合致し、開花状況に対する苦情等が減少した。観光客の滞在時間延長に



水郷旧家磯山邸で人力車に乗る新郎と新嫁

## Q2 がん予防について

**質問** がん検診受診率向上の取り組みを伺う。

**答** かすみ保健福祉センター長

対象者に往復はがき申込書を送付、未受診の5歳刻みの方に無料のクーポン券を、過去に検診を一度も受けたことがない方へ送付している。医療機関検診として、集団受診されなかった方を対象に個別での検診ができる機会も設けている。特定健診と同日に受診するのが可能とした。

**再質問** 1点目、初めてがん検診対象となる方に、最初の年度等の費用を免除することも含め、がん検診を受信する機会を設けることが重要と思うが考えを伺う。

2点目、受診しやすい検診体制の整備として、個別受診勧奨、再勧奨等の推進、休日や夜間検診の推進など受診者に配慮

した検診実施体制が必要と思うが考えを伺う。

**答** かすみ保健福祉センター長

1点目、貴重な意見としてご拝聴させて頂きます。2点目、茨城県健診協会に委託しており、その対応が課題で、協会とも今後相談しながら対応していく。

## Q3 基幹相談支援センターについて

**質問** 3月定例会において、専門職の確保、場所の選定などの課題が多く、具体的なセンター設置の見込みがつかない状況とのことでしたが、その後の設置に向けた状況を伺う。

**答** 社会福祉課長

社会福祉課に社会福祉士を新規採用。また、地域自立支援協議会に相談支援専門部会を設置し、連携体制構築をしている。精神保健福祉士など専門職の確保ができていなので、今後も実際の状況を注視し検討していく。

**再質問** 専門職の確保を今後どのように行っていくのか考えを伺う。

**答** 社会福祉課長

次年度の精神保健福祉、社会福祉士の職員募集を行っている。



Q1 国体について

潮来市は茨城国体の正式種目会場となるが競技用ボート施設・駐車場等の受け入れ準備はどう進めていくか。

生涯学習課長

30年度のプレ国体、31年度の国体コース整備、棧橋、駐艇場などは仮施設での整備を、潮来ボートセンターの施設は今後の活用も考え、改修を計画している。駐車場は浄化センター隣の県有地及び日の出コミュニティ広場、アイモアに予定。土日のピーク時は、日の出グラウンドの利用も考えている。



改修予定のボートセンター「あめんぼ」

質問

水上スポーツのメッカとしての環境を整え、将来、国外からや社会人、大学サークルを誘致すれば市の活性化になるがいかがか。

答

生涯学習課長  
潮来市の大きな特色で

あるボート競技を核として、スポーツを通じた文化交流、地域の活性化のため、スポーツ合宿の輪を広げてまいりたい。



国体コースとなる潮来ボートコース

Q2 市道整備について

質問

水原地区の市道(潮)382号線・牛堀地区の市道(牛)2279号線の整備計画は。

答

都市建設課長

382号線は、用地地権者へ交渉を行っています。用地確保後、速やかに工事を発注したい。2279号線は、19年度から工事に着手、東日本震災により一時中断していたが、27年度実施設計を発注し、地区や関係機関との調整協議を進めている。完成は30年頃の予定。  
大生地区しらは園前の市道(潮)16号線の整備計画と各地区からの要望件数・その達成件数はどの位あるか。

答

都市建設課長

本年度の整備予定箇所には含まれていません。他の地区の要望内容とも比較検討し、整備計画を立てますが、優先順位が高いと判断しているため、早い時期に着手する予定。

Q3 雑草対策について

質問

市街化区域内の空き地の雑草対策はどうか。

答

環境課長

所有者の自主的な管理をお願いしている。情報が寄せられた場合、現地確認と所有者の調査を行い、文書にて除草のお願いをしている。

質問

延方一号堤の管理はどうか、また、雑草地を菜の花、ひまわり等の花と変えれば、観光資源となり種を搾油すれば6次産業になると思うがどうか。

答

産業観光課長

エリアが分かれており、機場ブロックは14年度から市で維持管理している。鰐川ブロックは、管理者が決まっておらず、県が中心となり調整協議を継続中です。現在、延方監督管理体制整備推進委員会のもと、潮来市土地改良区及び延方土地改良区の組合員の方、7地区の住民の方々の参加協力により、年1回、清掃活動を実施。

答

市長

管理者の決定が先決と考えている。その推移を見守った後、アイデアを事業に反映させていければと考えています。

Q4 乳がん検診について

質問

高濃度・不均一高濃度乳腺で異常が見つけにくい場合の判定の伝え方と市の対応を伺う。

答

かすみ保健福祉センター長

要精密検査と精密検査不要のいずれかでお知らせしている。判定が難しい場合、要精密検査とし、専門医のいる医療機関の再検査をお願いしている。精密検査不要との結果でも、続けての健診をお願いし、自己検診で、腫瘍を発見した場合には、速やかに専門医のいる医療機関の受診を勧めている。

質問

健康寿命を延ばす為の市の今後の取り組みを伺う。

答

かすみ保健福祉センター長

脳卒中や、心筋梗塞等の循環器疾患、糖尿病等の重症化からくる人工透析を予防することが重要。健診の受診率向上、生活習慣改善に向けた保健指導、栄養指導を引き続き実施していく。





# 議員 英明 沼小 質問者

## Q1 入札について

### 質問

①指名競争入札に係る指名業者は、入札執行後に公表する。②指名競争入札において1社となった場合には、入札を中止します。7/13に変更点を公表されたが、説明を願う。

### 答

財政課長

①入札に参加する者の公正な競争の促進、不正行為の排除の観点から指名業者の公表を入札執行後とした。②競争参加者が限定されることから、入札を中止としている。

### 再質問

(8/24より見直し)この件について説明を願う。

### 答

財政課長

8/10の変更点として、①「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する方針」平成26年9月30閣議決定のものを運用し、予定価格の公表を入札執行後とした。②入札回数を2回までとし、2回で落札者が決定しない場合、最低価格提示者と最高2回までの見積もり合わせを行うという内容です。

### 再々質問

予定価格の公表を執行後にするのは、

不信感が募り、知る人だけが知

るといふ疑義がでてくるのではないか?また、市内業者建設工事、土木建築の部門の等級表(S, A, B, C)を明示した意義を伺う。

### 答

財政課長

指名選考においては、基準を潮来市請負業者選考規定により指名させていただいていますが、その規定の7条に請負業者の選定について付け加え、第8条で優先順位を設けています。

### 質問

7/19執行、28国補潮事、予定価格985万円の入札結果がしばらく保留になっていた。経緯の説明を願う。

### 答

財政課長

639万円の入札で落札率64.87%。予定価格の算出の基礎となった直接工事費の額に満たない場合に当たり、落札者の決定の保留を行った。調査を行い、問題なく施工ができることを確認し落札者を決定したため、その間、保留の表示をした。

### 再質問

落札率64.9%予め最低価格の設定はな

かったのか?

### 答

財政課長

今回は、潮来市建設工事等低価格入札処理要綱によ

り、低価格の調査を行うという状況のものでした。最低価格の要綱については、運用していません。

### 質問

条件付一般競争入札において辞退が多くないか?

### 答

財政課長

8月末現在で9件執行し、うち7件10社が入札前に辞退届を提出。理由の一部として、技術者の配置、部材等の調達が困難になったとの回答があった。

### 再質問

入札におけるマニュアルが、国交省内ホームページにある。当市においても1冊でわかるマニュアルを作ってもらえないか?

### 答

財政課長

国交省の指定指針等においても示されているので、その内容に沿いながら、検討を進めていきたい。

### 再々質問

副市長が入札の責任者であるが、公明・公正な入札をするうえで答弁を願う。

### 答

副市長

国、県のマニュアルも公表されているものがありますので、それらを踏まえ、取り組みを進めてまいりたい。入札制度は、当市において今ちようど

改革の途上にあります。ご意見をいただいて、よりよい方向に進むようさらに努力してまいります。

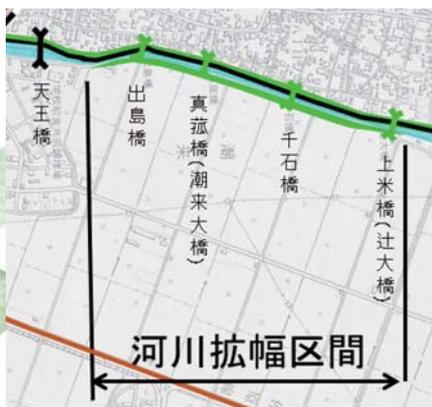
## Q2 前川の拡幅と橋の架け替えについて

進捗について伺う。

### 質問

都市建設課長

20年の長い道のり、県潮来土木事務所を確認したところ、27年度より出島橋の改修工事を進めている。橋梁架設工事は、旧橋の撤去から新橋への完成まで約3年の工事期間が必要です。まこも橋の橋梁工事を先行し、拡幅区間の下流位置からまこも橋まで、順次築堤、護岸、道路整備を行う予定。上流区間も、橋梁工事を先行、下流側から築堤、護岸、道路整備を行う予定。





# 議員 政則 大野 質問者

**Q1** H25年度の台風26号の前川沿岸の浸水防止対策について

**質問** 浸水被害状況、被害発生の要因、対応状況は。総務課長

**答** 床上浸水2件、床下浸水14件。記録的な大雨が短時間で降り、石田川、稲井川等々の内水が前川に流れ込んだことが要因。霞ヶ浦河川事務所、潮来土木事務所と連携を図り、前川水門の閉鎖を要請、消防団に土の積みや消防車での排水を要請した。

**質問** 大雨時における浸水被害防止対策においての、関係機関との連携、対応は。総務課長

**答** 霞ヶ浦河川事務所、潮来土木事務所と水位情報を共有し、親密に連携。水位が1.5mを超えると、水防団待機水位となる。

**質問** 関係機関へ意見書を提出しているが、どのような対応か。総務課長

**答** 霞ヶ浦河川事務所長宛てに、台風等に対する前川排水施設の柔軟な運用を求める要望書を平成26年2月17日付で提出。

**質問** 前川中流部の河川改修計画「上米橋から閘門間における浸水対策」は。

**答** 都市建設課長

平成16年度に前川橋から上流は治水対策が完了。稲井川合流点から前川橋の間、前川の右岸側、一部低い堤防があり、中流部の河川拡幅工事完了後に順次整備を行う。

**Q2** 真に開かれた行政運営と情報公開について

**質問** 情報公開請求件数並びに開示率は。総務課長

**答** 別表のとおりです。

年度	情報公開請求件数	開示率
H23	6件	80%
H24	4件	100%
H25	5件	100%
H26	17件	93%
H27	27件	100%



**質問** 情報公開制度は、検討段階、審議過程の文書も、開示対象文書では。総務課長

**答** 条例改正後の規定により運用を図る。

**質問** 情報発信室が設置されたが、今後の進め方は。秘書政策課長

**答** SNS等の活用、積極的な広報紙やホームページも、

市民目線でわかりやすいものにしていく。

**質問** パブリックコメントに関する要綱は整備されていないが、今後の対応は。秘書政策課長

**答** 早急に進めていく。

**Q3** 県道潮来・佐原線沿道における土地利用計画について

**質問** 土地利用について、どのようなアプローチをしてきたか。秘書政策課長

**答** 10年来、県に、一般県道潮来・佐原線の整備促進及び路線沿いの市街化調整区域の立地条件の緩和等の弾力的な運用措置を要望している。

**質問** 同沿線は農地だが、農業振興地域から除外された経緯等は。産業観光課長

**答** 昭和49年3月策定の潮来町農業振興地域整備計画の農用地区域の設置方針に道路沿線市街地、または住宅地として開発の進みつつある国道、県道沿線の農用地を除外したと思われる。

**質問** 道路整備（四車線化）進捗状況及び整備計画は。都市建設課長

**答** 大洲水神森〜潮来駅間の全長2100mの区間で計

画。大洲水神森〜山本葬祭前の区間700mを本年度実施しており、年度末に供用開始の予定。今年度以降の具体的な整備計画は現時点では未定。

**質問** 同沿線の開発に当たっての土地利用計画は。秘書政策課長

**答** 農業振興地域から除外されている75mの範囲の地権者に対して土地利用意向調査を実施しており、今後の県政要望へ活用していく。

**質問** 『休息施設を備えたコンビニエンスストア』を同沿道に建築することは可能か。都市建設課長

**答** 都市計画法第34条9号を踏まえると、主たる目的が物販店を占めており、自動車の運転者の休憩施設には該当しないので、建築することはできません。

**再質問** 他県または県内で、調整区域の除外他において緩和され、建設された記録があるが、県に対しての要望は考えているか。都市建設課長

**答** 県政要望の中に、立地基準の緩和ということについて、開発可能、立地ができるような形での基準の緩和を要望してまいりたい。



一般質問

市政を問う



# 質問者 小峰 進 議員

## Q1 国民健康保険の取り組みについて

**質問** 特定健診、特定保健指導の実施率は。メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少は。ジェネリック医薬品の使用促進状況は。

**答** 市民課長

各実施率等は、下表のとおりです。ジェネリック医薬品希望カードや保険証等に貼るシール、パンフレット等を保険証の切替時、被保険者全員に配布市民課とかすみ保健センターに窓口配布用として、常備し医療機関等にも協力要請を依頼しています。年2回にわたり、ジェネリック医薬品に切りかえた場合の差額通知を発送し、軽減できる金額の目安を対象者にお知らせします。利用促進に向け、積極的に市民の皆さんに使用促進を図っていききたい。



	H26	県平均	制度指標
特定健診受診率	39%	34.6%	60%
特定保健指導率	県内トップ67.8% ↑		60%

	H25	H26	改善
メタボ該当者減少率	22.6%	23.2%	0.6%改善
メタボ予備軍減少率	16.2%	20.4%	4.2%改善

H27については集計中

## Q2 災害時の一斉メール導入について

**質問** 消防団組織内の災害時における情報伝達はどのように行われているのか。区長も含め全消防団員への一斉メールでの情報発信（坂東市が導入した受信者が情報を見た見込みを確認できるもの）導入できないのか。

消防団組織内の災害時における情報伝達はどのように行われているのか。区長も含め全消防団員への一斉メールでの情報発信（坂東市が導入した受信者が情報を見た見込みを確認できるもの）導入できないのか。

**答** 総務課長

まず、消防団長から副団長及び本部つき分団長へ災害応急対策の決定方針に基づく指示がされます。次に、副団長及び本部つき分団長↓13部の各分団長↓40部の各部長↓各団員へ指示が伝達され、災害に対応しています。また、防災行政無線と市メールマガジン及びホームページにての配信、消防署から情報を受信できる受令機を各消防車両40部に配備。一斉メールは、市メールマガジンへの配信登録の普及を進めながら、一斉に情報が伝達される形のものもを研究し、進めていきたい。

## Q3 旧神宮橋から鰯川沿いの一号堤の市道について

**質問** 危険回避のため、市道の拡張はできないか。

**答** 都市建設課長

市道（潮）2級29号線は、既存舗装幅員が狭いところで4.5m、広いところで5.6m、平均約5m、現在の交通量を考えると、十分と考えています。大変危険であるのは、スピード超過によるものと思われるので、道路管理者として速度制限できないかを交通管理者と協議していききたい。

**再質問**

特に高齢者の運転手にとっては、道路幅の感覚がわからないことから、センターラインを引くことはできないか。余剰地的なところを広げて拡張できないか。

**答** 都市建設課長

車道幅員5.5mあればセンターラインは引けます。現状、平均5mですと、路肩に50cmずつの区画線の設置は可能であります。余剰地的な部分の拡張については、現地を確認し、検討をします。

## Q4 農業後継者づくりに関して

**質問** 新規就農希望者並びに農地所有適格法人（農業法人）設立希望者への具体的な取り組みは。

**答** 産業観光課長

新規就農の方に対しては、青年就農給付金制度があり、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、最大で総額150万までの給付。農地所有適格法人には、農業経営法人化等支援事業があり、集落への組織、複数経営の法人化などの取り組みに、定額で40万円の支援があります。



Q1 防災拠点としての市役所庁舎について

**質問** 災害活動の中心拠点となり、市民が利用し、活動主体となる職員がいる市庁舎や市が所有する施設（公民館・学校・給食センター等）の耐震基準は満たしているか。

**財政課長**

**答** 小・中学校は、耐震化済みで、現在、公民館の建物の耐震化を進めている。本庁舎全体においては、補強耐震対策は十分であると据えているが、本庁舎裏の別館は、耐震基準を下回っている。施設が古いということもあり、補強に係る費用、利用方法等について本庁舎全体を総合的に検討していきたい。

Q2 市庁舎の改築と庁舎建設基金の今後の活用・利用について

**質問** この基金を利用して①エレベーターの設置と、②男女共用となつているトイレの改善、③車の出入り口の整備等、市民に優しい庁舎にするために使えないか。

**財政課長**

**答** ①と②は改善のための工事、③は庁舎全体に付随する工事ですので基金を利用できません。

Q3 水郷旧家磯山邸について

**再質問** この施設は、地方創生事業の補助金を利用したのですが、民間が運営して、雇用や収益を得られるように使用することはできないか。

**市長**

**答** 指定管理者、一般の民間企業、NPO法人等、広く公募をかけるなど、しっかりとした事業者を見つけていく方向性で進めています。

**質問** 今後の磯山邸周辺、津軽河岸跡の事業計画はどうなっているか。

**秘書政策課長**

**答** 磯山邸を含め、津軽河岸及び前川周辺は、「前川歴史を活かしたまちづくり実施計画」、県と共同で策定した「前川かわまちづくり計画」に位置付けられています。今後もこの計画をもとに、事業実施を検討しているが、住民の皆様の声を大切にしながら実行出来るよう進めていきたい。



津軽河岸イメージパーク  
(平成21年度 前川歴史を活かしたまちづくり計画より)

Q4 今後のあやめまつり・水郷潮来あやめ公園について

**質問** 借地契約の敷地は、今後も契約を続けるしかないのか、別な対応も考えているのか。

**市長**

**答** 今は、借地ということでご協力いただいておりますが、安定してあやめまつりを行っていくためにも、出来れば、土地の確保を進めていきたい。

**質問** イベントは素晴らしいが、公園規模が近隣に比べ小さい。大きくする考えはあるか。

**市長**

**答** 今現在の計画にはありません。

**質問** 県主導で進んでいる「一級河川前川改修事業」を利用して、前川左岸に新しいあやめ公園を造り、道の駅の水路と連動した事業を考えた方がいいのではないか。

**市長**

**答** チャンスががあればアヤメを増やすということはあるだろうと思いますが、基本的な前川の河川、かわまちづくり計画を着実に進めていく方針です。国、県にご協力をいただき整備を進めていきたい。

Q5 保育所・幼稚園に訪問し、発達等に関する相談に応じる移動発達相談について

**質問** 心理発達相談員、保健士等を常駐させることはできないか。

**答** 発達に関する問題は早期に見ることににより、治る事例・軽減される事例があると聞いています。ぜひ、前向きに検討していただきたい。

**子育て支援課長**

**答** 移動発達相談で心理相談員と同行する保健士は、かすみ保健福祉センターに常駐しています。心理相談員の常駐が理想的ですが、人員確保が難しいのが現状です。鹿行管内でも同じ状態ですので、広域的な体制づくりも含めて検討を進めていかなければならないと考えています。





# 質問者 平田 健三 議員

## Q1 無料学習教室の開設について

**質問** 実施にあたり、どのような課題があるのか。

**答** 対象児童・生徒の範囲をどうするか。指導力のある人材確保や指導員を取りまとめるコーディネーターの確保など、指導員の必要人数をどう確保するのか。開設場所の設定をどこにするのか。実施日、時間、回数はどうするか。学習支援内容や教材、指導方法をどうするのかなど、様々な問題がある。

**質問** いつから実施を検討しているのか。

**答** 生涯学習課長

学習支援事業の実施についてはこれまでも組織横断的に検討を重ねてきた。今月は、先行自治体の視察を予定しており、実施状況を調査する。こうした調査研究を重ねながら平成29年度中の実施を目指している。

## Q2 あやめまつりについて

**質問** 今後あやめ園を整備し、付加価値をつけ継続するためにも入園料の検討を提案します。

**答** 産業観光課長

あやめ園の有料化については、あやめまつり実行委員会の中でも提案されていて、様々な意見がある。審議会等を設置し、有識者や関係者により検討を重ねる方向で考えている。

**質問** 市長

これから審議会等を開き、条例改正もしなくてはならないなど、いくつかのハードルがある。これをひとつひとつ、



水郷潮来あやめ園

住民や関係者、商工業者の皆様のご理解を得ながら、財源確保ができるようなあやめまつりにしていきたい。

## Q3 住民サービスの拡充について

**質問** 区長の要望に対して、どのように対応しているのか。

**答** 総務課長

総務課で242件の要望があり、主なものは防犯灯やカーブミラーの新設や修繕で、おおむね年度内に対応するが、できない場合は区長に説明している。

復興工事推進事務所では3件の要望があり、主に歩道の修繕で、対応は済んでいる。

都市建設課では45件の要望があり、年度内におおむね対応するが、道路や排水設備整備などの大規模な要望については、財政事情や時間がかかることを説明している。

## Q4 牛堀地区の活性化について

**質問** 潮来サイクリングロードの整備、イベントで牛

**答** 堀地区の活性化を提案するが 秘書政策課長

現在、茨城県や霞ヶ浦周辺自治体で、様々なサイクリングイベントを開催し、地域の活性化につなげている。潮来市でも国の加速化交付金を活用したサイクリングイベントの実施を計画しており、イベントの具体的内容について検討している。牛堀地区のコスモス畑や北斎公園、権兼山公園など、地域の資源と魅力を生かしたサイクリングイベントを研究していく。



上戸川コスモス畑

# 自治功労者表彰

多年にわたり地方自治の発展と市政の向上に貢献された議員が表彰されました。おめでとうございます。

## 全国市議会議長会表彰

- 今泉 利拓 議員 (議会議員 15年)
- 薄井 征記 議員 (議会議員 15年)
- 小沼 英明 議員 (議会議員 15年)



## 議会の動き

### 7月

- 3日 潮来市水防訓練 議長
- 5日 茨城県議長会研修 議長
- 6日 茨城県議長会視察 議長
- 10日 あやめ一人一鉢運動 関係議員
- 13日 水戸神栖線・玉里水戸線道路建設期成同盟総会 議長
- 13日 広報編集委員会視察研修 関係議員
- 17日 水原八坂神社御祭礼 議長
- 19日 霞ヶ浦治水同盟会 議長
- 21日 東関東自動車道水戸線期成同盟会 議長
- 21日 国道51号鹿嶋・潮来バイパス期成同盟会 議長
- 22日 交通安全街頭キャンペーン 議長
- 22日 潮来お祭り委員会理事会 関係議員
- 22日 県東議長会定例会 議長
- 26～27日 総務建設委員会研修 関係議員
- 29日 教育福祉経済委員会研修 関係議員
- 30日 水郷潮来あやめまつり実行委員会 関係議員
- 30日 日の出神幸祭 関係議員
- 31日 硯宮神社祭礼 関係議員
- 延方相撲例大祭 関係議員

### 8月

- 7日 下田祇園例大祭 関係議員
- 17日 民生委員推薦会 議長

### 9月

- 1日 議会運営委員会 議長
- 6日 9月本会議 定例会 初日 議長
- 9日 社会福祉大会実行委員会 議長
- 13日 9月定例会 一般質問 議長
- 14日 9月定例会 一般質問 議長
- 15日 9月定例会 一般質問 議長
- 16日 9月定例会 本会議 議長
- 17日 全国市町村交流レガッタ大会 関係議員
- 18日 潮来市消防操法大会 関係議員
- 20日 総務建設委員会 関係議員
- 21日 教育福祉経済委員会 関係議員
- 22日 潮来市戦没者追悼式 関係議員
- 23日 9月定例会 本会議 最終日 関係議員
- 24日 月まつり 関係議員
- 25日 潮来・牛堀・日の出小学校運動会 関係議員
- 敬老会 関係議員
- 18日 人権教育研修会 関係議員
- アントラースホームタウン交流会 関係議員
- 20日 水郷潮来花火大会 関係議員
- 22日 議会運営委員会 議長
- 23日 東関東自動車道等中央要望 議長
- 23日 社会福祉協議会理事会 議長
- 25日 総務建設委員会協議会 議長
- 26日 国保運営協議会 議長
- 26日 教育福祉経済委員会協議会 議長
- 30日 全員協議会(告示、議案配付)

# 市政の課題に取り組みます。



- 常任委員会** 市政の課題や市の事務を分野別に調査・審査しています。
- 特別委員会** 特定の問題について調査・審査します。  
(現在設置されているものではありません)
- 議会運営委員会** 議会が円滑かつ効率的に進行するよう調査・審査しています。

◎…委員長 ○…副委員長

## 常任委員会

### 総務建設委員会

**所管**

秘書政策、総務、財政、税、会計・企業誘致、都市計画、道路、水道、下水道等に関する事項など

◎笠岡丈夫

○箕輪昇

今泉利拓

栗飯原治雄

小沼英明

飯島康弘

大野政則

兼平直紀

### 研修報告 7/26～7/27

**視察**

公民連携で活性化！

岩手県紫波町（しわちよつ）

都市部の盛岡市と花巻市の中間部に位置する、人口3万2千人の農村地帯で東北本線紫波中央駅前の町有地10・7haの都市整備事業を<sup>※1</sup>公民連携の<sup>※2</sup>「オガールプロジェクト」として推進。エリア内には県のサッカー場、官民施設、役場庁舎など整然と配置され、エコハウス57戸も分譲建設されており、各施設とも地元産の木材を主要な構造物とし、皮や端材を活用したバイオエネルギーセンターも設置され徹底した地産地消の取り組み工夫が施されています。

プロジェクトは、町民・企業・行政の協議、住民説明会など参加する各組織団体の納得・協力の上で推進され、プロジェクトの中心が町全額出資のオガール株式会社ですが、企画運営が主な業務のため研修視察の受け入れは重要な収入源のようです。

**解説**

<sup>※1</sup> 公民連携とは、行政と民間事業者が協働で住民サービスの向上や事業効率のアップ、地域経済の活性化などに取り組むことを言い、様々な形態があります。

<sup>※2</sup> 「オガールプロジェクト」とは、フランス語で「駅」を意味する「Gare」（ガール）と紫波の方言で「成長」を意味する「おがる」を合わせた造語で紫波中央駅前都市整備事業のこと。

**視察**

コミュニティ形成推進！

岩手県栗石町（つづくいしちよつ）

盛岡市から西へ秋田県界の人口1万7千人の農村地帯で、人口減少対策として「コミュニティ形成推進事業」を展開。事業の趣旨は少子高齢化・核家族化・生活様式の多様化等により、地域住民の安否確認・救護救助・相互支援など地域のコミュニティの重要さが見直されてきたことによるもので、行政から各地区のコミュニティに自治会活動や自主防止活動に対し活動費の助成をし、地域内の生命を守る共助の取り組み強化（地域力アップ・自治力アップ）が図られています。

74地区のうち64地区が活動に参加し、平成27年度の活動交付額は851万円でした。

今回、都市部に挟まれた田園地域のさらなる発展を目指す取り組みと人口減少に苦しむ山間部の取り組みを見てきましたが、潮来市においても鹿島開港時に短期間でできた大山団地や、新住民が多く自治会への未加入が多い日の出地区など共通する問題点が多く、大変参考になりました。

今後の潮来市での活性化に提言できればと思います。



## 市議会の委員会に注目！

# 住みよいまちづくりのため、

## 「委員会」って何だろう？



市政の課題は様々な分野にわたります。そこで分野別に議案や請願の審査を行うために設けられたのが委員会。少人数で専門的な議論を進めます。

また、委員会では、事務事業の比較調査、政策研究等のための行政視察も実施しています。

群馬県川場村は35年前に東京都世田谷区とふるさと協定を結び来訪区民は170万人。道の駅川場田園プラザは23年前設立（道の駅いたこ15年前）で地場産業の新商品開発・訪れた道の駅関東5年連続1位・地域経済貢献で（全国1040駅中）全国モデル（6駅）・重点（35駅）に選ばれた道の駅です。東京ドーム1.5倍の広さへ家族で1日滞在できる11施設（体験も木工・陶芸ろくろ・芝ソリ）があり、イベント時には1時間もの渋滞からイベントには頼らず年120万人来訪（道の駅いたこ昨年度54万人超・年間取引8億円過去最高共）。アレルギーフリー米粉食パンも人気で、農産物提供は常に300名、昼に売切れの一斉メールへ免許返納の高齢提供者が自転車を持って来て、生きがい健康対策と雇用の場です。道の駅いたこや観光商工農政へ活かしていきます。



**視察** 年120万人が訪れる  
群馬県川場村の道の駅川場田園プラザ

**研修報告** 7/26～7/27

## 教育福祉経済委員会

所管 教育、福祉、保健、保険年金、産業観光、環境、農業委員会等に関する事項など

◎沼里真一郎 ○飯田幸弘 薄井征記 田崎 清 平田健三 兼平好一 小峰 進 阿部慶介

**視察** 新潟県燕市社会福祉協議会

社会福祉協議会は民間ながら地域福祉の中核を担い重要です。新潟県燕市社協の先進活動①CSW（コミュニティソーシャルワーカー）を活用した各地域支え合い活動②ボランティア・市民活動センター事業③福祉後見・権利擁護センター事業④燕市人口8万人・潮来市1.5倍面積での②デマンドタクシー予約センター業務を研修し、各地でミニ講座・相談事業・サロン等が盛んでもボランティア会員の高齢化は同様でした。収入強化へは映像DVDで社協の役割をPR宣伝し、会費は一般・賛助・特別の他、年5万円の会員があり、社協本部の市民交流センターと5支所（ふれあい喫茶、就労・障がい者支援・老人センター等）を指定管理しています。社協正職員35名（潮来社協3名）で、市から人件費補助も充実し、（潮来社協は連続赤字決算と財政調整基金の枯渇と支払資金残高不足の恐れある）福祉の赤字を市が補っていました。委員会は福祉増進へ尽力します。

### 解説

① 地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活圏の環境整備や住民のネットワーク化といった地域支援を行う者。

② デマンドタクシーとは、電話で予約して、自宅や出先から、市内の目的地まで行くことができる予約制の乗合ワゴン車です。

## 歳入歳出補正予算

○歳入歳出に、それぞれ1億2千162万9千円を追加し、総額を141億314万8千円とする

提出された補正予算1件は、  
原案のとおり可決しました

## 地方債補正 道の駅いたこ改修工事による変更

○限度額の変更 合併特例債の限度額、4億2千900万円に1億860万円追加し、5億3千760万円とする

### 歳入 121,629千円

▶ 財政調整基金繰入金	13,029千円…（歳入歳出調整金）
▶ 合併特例債	108,600千円…道の駅いたこ改修工事による増額

### 歳出 121,629千円

#### 津軽河岸跡周辺整備事業委託 7,334千円

▶ 測量委託	4,061千円
▶ 計画作成業務委託	3,273千円

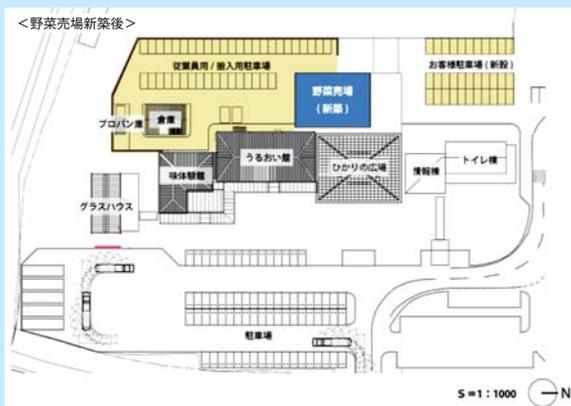


※平成27年度から地方創生交付金を活用し、水郷旧家磯山邸の耐震補強改修工事を含めた事業を進めている中、隣接する旧JA倉庫（石蔵）をはじめとする津軽河岸跡周辺事業を実施するため、測量、計画作成などの業務を行う。

#### 道の駅いたこ改修委託 114,295千円

▶ 管理委託	2,300千円
▶ 道の駅いたこ改修設計委託	8,131千円
▶ 道の駅いたこ改修工事	103,864千円

※農産物直売所を新築、売り場面積を拡張、駐車場の整備。





## 請願・陳情について



市政等について意見や要望がある場合、請願や陳情を議会に提出して市政に反映させることができます。請願や陳情は、どなたでも（個人、団体）提出することができます。

**【請願】** 請願を提出する場合は、**請願の内容に賛意を表す議員（紹介議員）の署名**が必要です。提出された請願は議会で審議し、採択か不採択かを決めます。

**【陳情】** 陳情には紹介議員は必要ありませんが、陳情の場合は原則として**議員配付のみとなり 議会での審議は行いません**。提出された陳情は、原文のまま印刷し、議員全員へ配布します。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください  
TEL63-1111（内線301）



### 議会インターネット放送を 実施しています

本会議の様子をインターネットでご覧いただけます（生放送・録画放送）。  
潮来市議会ホームページからご覧ください。



# お知らせ



皆様にご愛読いた  
だいて参りました  
「議会だより」の  
名前が変わります！  
お楽しみに！

## 熱戦！第25回全国市町村交流レガッタ 戸田大会（9/17～18）

全国28市町村149チームが参加、潮来市からは、6月開催の「水郷潮来シティレガッタ」で上位成績だった5チームが出場、熱戦を繰り広げました。

なでしこチャポンは  
昨年に続き2連覇！



優勝！なでしこチャポン（手前）と  
3位のITAKO花組（奥）

全力を尽くしました！



0.09秒差で4位！



潮来市議会ボート部

全力を尽くしました！



折って漕ぐだけの会



注目！

私たちも頑張っています！

第36回全日本中学選手権大会で  
優勝するなど潮来一中と日の出中  
のボート部も活躍中です！

### 楽しく！真剣に！

表紙説明

たくさんの体験から学んだことを生かし、みんなで協力しながら、自分たちの周りの自然を守り育てていく活動をしています。50年以上続く伝統行事、三世代での「茶つみ」や、森林での体験活動、「白鳥の里」での「自然に親しむ会」等を実施するなど、長年の活動が認められての表彰です。おめでとうございます。



## 編集後記

今年も残すところ一ヶ月を過ぎました。八月末から九月にかけて台風の襲来と秋雨前線の停滞により、野菜の高騰や、米の収穫をはじめ、多くの影響を受けました。改めて自然に対する無力さを感じます。地球温暖化により、自然環境は益々厳しくなっています。自然を知り、上手に自然と向き合うことの大切さを思う時、大生原小学校の全校児童が「緑の少年団」として活動していることが全国的に認められ、この度表彰されました。これからも活動を通して自然を愛し、守り、育てる事の大切さを学び 合わせて友達間の交流、地域との交流をさらに深めてもらいたいと思います。

（箕輪 晃）

### 議会広報編集委員会

委員長 薄井 征記  
副委員長 大野 政則  
委員 箕輪 幸昇  
委員 飯田 幸弘  
委員 兼平 直紀  
委員 阿部 慶介

